

高比良元・中央後援会からの通信

高比良元後援会の皆様の強力なご支援に感謝いたします。

さて、高比良元後援会会員である我々有志は高比良元の政治活動内容を後援会の皆様に適宜通信することにより、これら活動が後援会会員の皆様の信頼と期待に報いているか、県民の幸せのためになっているかを判断してもらい、さらなる皆様のご指導とご支援を願うものであります。

TV (KTN) のインタビューに答える

先般、長崎新聞のふるさと総合版の「聞きたい・言いたい」の欄で、私の「県議会・県政改革特別委員会」の委員長としての、委員会運営の基本的な考え方等に関するインタビュー記事が大きく報じられたことについて、ご存知の方が多いのではないかと思いますが、今回はテレビ番組でのインタビューを受けました。

内容は「県議会・県政改革特別委員会について」と「百条委員会について」の2本。前者については新聞のインタビューと重複することが多いため、ここで改めて紹介することは略しますが、後者については、いよいよこれからです。

百条委員会というのは地方自治法第100条の規定により、証人喚問等強い調査権を持った委員会の通称ですが、今回の場合、正式には「諫早湾干拓事業における入植者の選定に関する調査特別委員会」です。



入植者の選定が果たして公平かつ適正に行われたか。

特に前知事と前農林水産政務官の親族の会社が選定されたことが内容的に妥当なのか、選定過程において圧力や便宜といったことがなかったのかを検証するものです。諫早湾干拓事業については現在、開門をめぐる賛成反対の声が激しくなっていますが、この入植地の選定についても県民の関心が高いだけに、審査にあたっては慎重かつ多角的に、また、予断を持たず適正に行っていかなければなりません。短いインタビューの放映時間ですが、只今申し上げたようなことを話しました。

老人福祉施設協議会の皆さんとの意見交換会 (平成24年1月掲載)

県議会連立会派の政調で毎月政策課題毎に関係する諸団体の皆さんと意見交換会を開催しておりますが、今般、『特別養護老人ホーム』や『養護老人ホーム』等を経営する皆さんとの話し合いを行いました。

特別養護老人ホームについては介護保険事業の中で運営されていますし、養護老人ホームについては保護が必要な老人を市町が入所を措置するという枠組みにおいて運営されています。

特別養護老人ホームは老健施設やグループホーム等と同様に入所希望者が後を絶たない状況ですが、介護保険事業の財政の厳しさから、なかなか新設や定員枠を拡大するという取り組みが思うに任せない状況にあるとともに、介護報酬が医療報酬と比べて割安なだけに従業員の給与他処遇も必ずしも十分ではなく、離職者も多いために厳しい運営を強いられています。

一方、養護老人ホームにおいては、市町による全額措置費という財源によってのみ制度上賄われていることから、介護保険対象事業所のように施設の改修や運営に対する国庫補助制度がなく必要な改善は自らの運営努力のみによって賄う必要があることから、施設の維持管理や運営上種々の問題を抱えています。

高齢化が増々進む中で、在宅介護サービスが基本だといっても実際は特別養護老人ホームへの入所希望者は更に増大し、また養護老人ホームの社会的役割も更に高まってくることは間違いありません。

負担と受益のバランス、社会保障費の増大に対する財源の捻出の方策、福祉を支えるマンパワーの安定的な確保等、我が国全体の問題ではありますが、単に国の制度に依拠するのみではなく長崎県として実態に即して必要なニーズや固有の課題に対しては積極的な財政支援や施策を講じていかなければなりません。

一つ一つの対策について、利用者即ち本当にこれらのサービスを必要とする人たちの立場に立って県や市を動かしてまいります。

県議2期目となったいま、改めて長崎市内各地の振興課題について当該地の人たちと意見交換をし、『ひとつでもふたつでも課題を解決するため』に取り組む端緒としたという意図で地区別の意見交換会を実施しています。

お知らせ①



平成24年1月20日長崎市役所横の会場で新年会を開催しました。ご出席の皆様には厚く御礼申し上げます。

実は、当初平成23年度の社会的事情を考慮しつつも日頃のご無沙汰のお詫びをお伝えしたいと考え120名程度の規模での開催を予定していましたが、当日約230名と倍の参加人数になりました。しかし、既に案内状を発送した関係上会場変更が混乱を招くとのことで予定通りの会場で開催することとなりました。その結果、会場を区分することを余儀なくされご出席の皆様にはご不便とご不満を持たれたのではと反省をしております。特に1階の部屋で過ごされた会員の皆様には大変申し訳ないことと深く陳謝いたします。

しかし、皆様の温かいご厚情の下で、盛会裏の内に閉会することができましたことを心から感謝いたします。

高比良元中央後援会

お知らせ②



「高比良元はグラバー園で生まれた！」

生粋の長崎っ子！です

高比良 ちづこ（1959年生まれ血液型B型）の「夫に関するエピソード」等ブログから判明

「歴史をつくるのは女ですか？」の一部抜粋

余談ですが、龍馬さんと関係のある英国商人トーマスグラバーのグラバー邸は、皆さん誰でもご存じでしょう。

しかしその奥にあるオルト邸について、後に日本人が暮らしていたことをご存じの方はそう、いらっしゃらないでしょう。そのオルト邸で生まれたのが私の夫。グラバー園に行く度にその奥のオルト邸まで足を伸ばし「ここが生まれた家、ここが寝ていたベッドで…」と話しをしてくれます。



上記はオルト邸です

（元さんの子供時代はこのような立派なものではありませんとのことでした）

お知らせ③



後援会の皆様も意見交換会を開催しませんか、高比良県議は時間の許す限り参加させていただきますとのことです。なお、下記記載の高比良元中央後援会事務所でも15名程度なら会場として活用していただけますよ。

高比良元中央後援会事務所開設

所在地 長崎市興善町 4-1 興善ビル 401

TEL 095-827-0005 FAX095-827-0006

